

匝瑳市立平和小学校 家庭学習の手引き

～自らめあてに向けて取り組む平和っ子を目指して～

小学校の学習は、将来子どもたちが社会人として自立するための基礎となるものです。学校で子供たちの学力向上に取り組んでいくと同時に、学校と家庭が連携することで、学習内容が定着し、学力がより一層伸びていくことが期待できます。この「家庭学習の手引き」をお子様と一緒にご覧いただき、進んで家庭学習に取り組む子どもを育てるためのヒントとしてご活用ください。

1 家庭学習の意義

☆「凡事徹底」で学ぶ習慣を

①学習内容を定着させる

学校で学習したことを家庭で復習することにより、習熟・定着を図ることができます。特に漢字や計算などは、毎日繰り返し練習することで定着していきます。宿題を必ずやり、その他に時間をつくって自主学習を行うなど、家庭での反復学習によって、学校で「わかった」ことが「できる」という自信に変わります。

②脳の活性化を図る

読み・書き・計算を毎日繰り返すことは、脳の活性化につながると言われています。脳も手足の筋肉と同じように、毎日繰り返し使うことで活発に動くようになります。鍛えれば、鍛えるほど発達し、たくましくなって、脳がいろいろなことにうまく使えるようになります。

③学ぶ習慣をつける

毎日家庭学習を続けることにより、自ら進んで学ぶ習慣が身に付きます。毎日続けることで、やがて、当たり前前の習慣になります。少しずつでも継続することが大きな力に繋がります。低学年のうちから毎日欠かさず家庭学習をする習慣をつけることが大切です。

④がまん強さ・根気・集中力をつける

子どもたちは「やりたいこと」が優先され、「やるべきこと」が後回しになってしまったり、時間を上手に使えなかったりすることがあります。家庭学習を「やるべきこと」として継続していくことで、がまん強さや・根気が身に付いていきます。更に、自分の興味のある学習を自分のペースで行うことで、集中して取り組めるようになります。

⑤家族のふれあいの時間をもつ

「本を読んでいるとき、となりで聞いてあげる」「勉強がわからないとき、一緒に考えたり調べたりしてあげる」など、家庭学習をしている子どもに親が関わることにより、コミュニケーションが図れます。家族のふれあいの機会が増えることは、子どもの精神の安定につながります。キッチン（台所）で見守っていただくだけでも結構です。

2 家庭学習のポイント

☆やる気を引き出す家庭のサポート

①時間を大切にする

- ・毎日決まった時間に行う
- ・少しずつでも毎日行う
- ・学年×10分を目安に行う（1年生は20分）
- ・休みの日や習いごとのある日は時間を上手に使えるような計画を立てる

②集中して学習する

- ・テレビや音楽は消す
- ・「テレビを見ながら」「おやつを食べながら」などの「ながら勉強」はしない
- ・めあてや課題を決めて行う

③整理整頓に心がける

- ・マンガやゲームを机に置かない
- ・学習用具をきちんと整える

④やる気を育てる

- ・子どものがんばりを認めて・褒めて・励ます
- ・興味のあること・得意なことを伸ばす
- ・強制をしすぎたり、間違いをきつく叱ったりしない
- ・家族の方が学習の様子をそばで見守る

⑤規則正しい生活をする

- ・早寝・早起き・朝ご飯
- ・睡眠時間を確保する（8～9時間）
- ・食事は家族で一緒にとり、準備や片付けなど家事を分担する



3 家庭学習の方法

☆「継続は力なり」で自ら学ぶ力を

- ①学校からの「宿題」に最初に取り組みましょう。
- ②時間をつくって自主学習に取り組みましょう。
- ③読書やお絵かきでも構わないので、必ず机に向かう習慣をつけましょう。
- ④鉛筆を削ったり、学習用具や提出物を揃えたりするなど次の日の準備をしましょう。

参考例

国語		算数	理科・社会・その他
○漢字練習 ○国語ドリル ○意味調べ ○日記 ○音読 ○視写 ○テストやプリントの直し		○計算練習 ○算数ドリル ○教科書の練習問題 ○テストやプリントの直し	○生き物調べ ○観察・実験 ○地域調べ ○都道府県の特徴 ○歴史 ○教科書・プリント・資料集を読み直す ○学習したことをまとめ直す ○インターネットで調べる
日常生活で取り組みたいこと	・道徳の授業で感じたことについて話し合いましょう。 ・読書（学年や発達段階に応じた本を用意しましょう。 ・国語辞典・漢和辞典・図鑑を使って調べましょう。 ・日本地図・世界地図・地球儀を使ってみましょう。 ・小学生新聞など、新聞を読んでみましょう。 ・ニュース番組を見て家族で話し合いましょう。 ・自然や生き物と触れあいましょう。 ・詩歌の暗唱をしましょう。 ・余裕があれば、市販のドリルや問題集にも取り組みましょう。		



4 各学年の家庭学習について

☆発達段階に応じた内容と手立てを

1・2年生

学習時間のめやす 1年・・・20分 2年・・・20分

目標：基本的な学習習慣を身に付ける

習慣づけの1年生

- ①鉛筆を正しくもって字が書ける。
- ②ひらがな・カタカナが読めて書ける。
- ③助詞（て・に・を・は）を使い分けて文章が書ける。
- ④たし算・ひき算が正確にできる。
- ⑤配当漢字のすべてが読めて、8割以上の漢字が書ける。

楽しく覚える2年生

- ①配当漢字の全てが読めて、8割以上の漢字が書ける。
- ②順序よく話ができる。
- ③九九がすらすら言える。たし算・ひき算・かけ算が速くできる。
- ④位をそろえて筆算ができる。
- ⑤ものさしを使い、決められた長さの直線を正確に読んだり引いたりすることができる。
- ⑥時計が読める。

	学 習 の 内 容 例
国 語	【音 読】・点や丸に気を付けて大きな声で読む。 ・間違えずにすらすら読む。 【ひらがな・カタカナ・漢字】・書き順に気を付けてノートに書く。 ・習った漢字を使って、言葉作りや文作りをする。 【視 写】・教科書等を見ながら、ノートに同じように写して書く。 【日 記】・日付、題名を書いてからその日の出来事を書く。 【読 書】・自分で読んだり、家の人と一緒に読んだりする。 ・心に残ったところや好きな場面を絵や文で書く。
算 数	【計 算】・学習したことをもう一度ノートに書く。 ・まちがえた問題をもう一度解き直す。・教科書やドリルの問題を解く。 ・たし算・ひき算・かけ算（2年生）を使った文章問題を作る。 ・書いたり、唱えたりして九九の練習をする。 【時 計】・何時何分か読む。
そ の 他	・道徳の授業で感じたことについて家族と話し合う。 ・生き物を観察する。 ・鍵盤ハーモニカの練習をする。 ・生活科の学習に関わる調べ学習をする。

3・4年生

学習時間のめやす 3年・・・30分 4年・・・40分

目標：自ら学習に向かう習慣を身に付ける

視野が広がる3年生

- ① 配当漢字のすべてが読めて、8割以上の漢字が書ける。
- ② 短い詩が暗唱できる。
- ③ 簡単なことわざを知っている。
- ④ 主語と述語の意味がわかる。
- ⑤ かけ算やわり算が正しい手順で計算できる。
- ⑥ はかりを使って重さが読める。

学習の基礎を固める4年生

- ① 配当漢字のすべてが読めて、8割以上の漢字が書ける。
- ② ローマ字を適切に読み書きできる。
- ③ 国語辞典や漢字辞典を正しく使える。
- ④ 文と文のつながりを考えながら、指示語や接続語を使って文を書くことができる。
- ⑤ わり算の筆算ができる。
- ⑥ 倍を使った文章題が正しく解ける。
- ⑦ コンパスや分度器を正しく使うことができる。
- ⑧ 地図を使って見知らぬ場所や地名を調べることができる。
- ⑨ 47都道府県の位置がわかり、正しく書ける。

	学 習 の 内 容 例
国 語	【音 読】・教科書の文章を声に出して正確に読む。 ・様子を思い浮かべて工夫して読む。 【漢 字】・学習した漢字を繰り返し練習して、正確に書いたり読んだりする。 ・漢字辞典などを使って、新しい漢字の成り立ちを調べる。 【ことばのきまり】・国語辞典などで熟語の意味を調べる。 ・ローマ字を繰り返し書いたり、読んだりして覚える。 【日 記】・伝えたい内容を分かりやすく書く。 【読 書】・教科書に出てきた作家や同じテーマの作品を読む。 ・読んだ本の感想や紹介文を書く。
算 数	【計 算】・学習したことをもう一度ノートに書く。 ・まちがえた問題をもう一度解き直す。 ・教科書やドリルの問題を解く。 ・分度器や三角定規、コンパスを使って（4年生）図形をノートに書く。 ・自分で問題をつくって解いたり、考え方を図や言葉を使って説明したりする。
そ の 他	・道徳の授業で感じたことについて家族と話し合う。 ・生き物や月や星座を観察してまとめる。 ・リコーダーの練習をする。 ・地図記号や都道府県名について調べる。 ・国名や国旗について調べる。 ・外国語活動で学んだ内容を反復練習する。

目標：自ら計画を立て、自力で学習を進める

いろいろな個性が際立つ5年生

- ①配当漢字の全てが読め、8割以上の漢字が書ける。
- ②今まで習った漢字を使った熟語の8割が書ける。
- ③小数のかけ算やわり算ができる。
- ④分母が同じ分数のたし算やひき算ができる。
- ⑤割合・百分率を使った問題が解ける。
- ⑥国土の地理的環境の特色について調べることができる。
- ⑦日本の産業の特色について調べることができる。
- ⑧パソコンでローマ字入力ができる。
- ⑨世界の主な国々の位置を正しく示すことができる。

中学校生活に希望がもてる6年生

- ①小学校で習得すべき漢字のすべてが読め、8割以上の漢字が書ける。
- ②小学校で習う漢字を使った熟語の8割を正しく書ける。
- ③歴史に残る古文を暗唱できる。
- ④分数のかけ算・わり算ができる。
- ⑤歴史上の人物について説明できる。
- ⑥重要な年号と出来事について説明できる。
- ⑦日本国憲法や三権分立など政治用語について知っている。
- ⑧理科の実験器具の正しい扱い方を知っている。
- ⑨外国語に親しみ、英単語を読んだり書いたりする。

	学 習 の 内 容 例
国 語	【音読・朗読】・教科書の文章をていねいに読み、内容をつかむ。 ・キーワードを意識して読む。 【漢 字】・学習した漢字を繰り返し練習して確実に覚え、正確に書いたり読んだりする。 ・漢字辞典などを使って、新しい漢字の意味を調べる。 【ことばのきまり】・国語辞典などを積極的に使用し、語いを増やす。 ・敬語の使い方を覚える。 【日 記】・自分でテーマを見つけて書く。 【読 書】・いろいろなジャンルの本を読む。
算 数	【計 算】・学習したことをもう一度ノートに書く。 ・まちがえた問題をもう一度解き直す。 ・教科書やドリルの問題を解く。 ・いろいろな解き方に挑戦する。 ・自分で問題をつくって解いたり、考え方を図や言葉を使って説明したりする。
そ の 他	・道徳の授業で感じたことについて家族と話し合う。 ・雲を観察し、天気の変化や天気図についてまとめる。 ・新聞やニュースをみて、内容をまとめ自分の考えを書く。 ・歴史上の人物や出来事について書かれた本を読む。 ・英単語を読んだり書いたりする。